

国際協力機構（JICA）の環境協力

1. 概要

- 1990 年から「日中友好環境保全センター」（無償・技協）を中核とする環境協力を通じ、中国の環境政策・制度・組織の整備、人材育成を実施。
- 円借款を通じ、大気改善（39 都市）、下水道（59 都市）、廃棄物処理（30 都市）、植林（13 省・自治区）などの協力を実施。（円借款は 2007 年度に新規承諾を終了）
- 「環境協力」は我が国にも直接影響が及びうる日中共通の課題として、対中協力の重点分野。現在は、政策・制度面での知的支援を中心に事業展開。



日中友好環境保全センター



湖南省湘潭市の大気状況



湖南セメント工場での技術指導

2. 最近の主な環境分野に対する協力

（1）技術協力

- 環境にやさしい社会構築プロジェクト（2016～2021）【日中友好環境保全センター】
 - ・大気汚染対策、水環境管理、環境教育、環境情報公開、電子廃棄物処理、公害防止管理者制度、環境アセスメント等、環境全般に係る課題に対応
- オゾン及び PM2.5 抑制のための計画策定能力向上プロジェクト（2013～2016）【環境保護部】
 - ・オゾン及び PM2.5 対策に関する人材育成を目的とした訪日研修を実施
- 大気中の窒素酸化物総量抑制プロジェクト（2013～2016）【環境保護部】
 - ・PM2.5 の主要な原因物質の一つである窒素酸化物の排出削減に向けて、必要な政策・制度面の課題を検討し、また実践的な抑制技術を普及
- 農村污水处理技術システムおよび管理体系の構築プロジェクト（2014～2017）【住宅都市建設部】
 - ・中国の農村部に適した污水处理技術と管理体系・制度を検討し、提言書やマニュアルの作成等を通じて、モデル構築を図る
- 持続的農業技術研究開発計画（III）（2015～2017）【農業科学院】
 - ・日系企業とも連携し、環境にやさしい農業技術（投入施肥量減少技術、生分解性マルチ等）の導入・普及を図る
- 都市廃棄物循環利用推進プロジェクト（2010～2015）【国家発改委資源節約環境保護司】
 - ・廃棄物（ゴミ・包装・廃タイヤ）の国家レベル循環利用政策を整備
 - ・地方 4 都市（嘉興、青島、貴陽、西寧）でパイロット事業を実施
- 人とトキが共生できる地域環境づくりプロジェクト（2010～2015）【国家林業局】



- ・ トキ生息環境の保全、有機農業販売等による住民の生計向上を通じ、人とトキが共生できる地域環境モデルの構築を図る

■ 環境法に関する訪日研修・セミナーの実施（2014～2017）【全人代法制工作委員会】

- ・ 日本の環境関連法・制度に関する経験を共有し、中国環境保護法改正の検討をサポート

(2) 草の根技術協力

■ 有害大気汚染物質モニタリング技術の普及による黒龍江省の大気環境保全支援事業（2013～2016）【山形県】

- ・ VOC や重金属類に関する有害大気汚染物質の測定技術を習得

■ 遼寧省との揮発性有機化合物（VOC）対策協力事業（2015～2017）【富山県】

- ・ VOCに係る採取、分析、解析技術を習得

■ 寧夏回族自治区における水環境改善のための流域管理計画の構築（2013～2016）【島根県】

- ・ 流域管理計画の策定技術および水環境改善技術（污水・汚泥処理）を習得

■ 湖南省における都市污水处理場運転管理技術と住民の環境意識の向上のためのプロジェクト（2013～2017）【滋賀県】

- ・ 污水处理場の処理水質および汚泥処理効率を向上させるための技術を習得

■ 江蘇省土壤汚染対策技術支援事業（2013～2016）【石川県】

- ・ 土壤汚染の実態把握調査に必要な調査技術を習得

(3) 円借款

■ 北京市環境整備事業 【北京正東電子動力集団】 * 2009年完成

- ・ 北京市電子城地区において、老朽化した多数の石炭小型ボイラー使用を取りやめ、天然ガスによる熱電併給プラントを円借款で建設